



SANJO ROTARY CLUB

三條ロータリークラブ

週報 No.39

2026.6.3(No.3286)

ロータリーで善の循環を

第2560地区ガバナー／室賀 信宏  
 会 長／柳 取 崇 之  
 会長エレクト／小 林 吾 郎 (クラブ奉仕A)  
 副 会 長／吉 井 直 樹  
 幹 事／早 川 滝 徳  
 S A A／長谷川正実  
 会 計／船 越 良 則  
 直 前 会 長／渡 辺 良 一  
 会長ノミニー／明田川賢一 (クラブ奉仕B)

例会日／毎週水曜日 12:30～  
 例会場及び事務局／  
 三条市旭町2-5-10 三条信用金庫本店内  
 例会場／TEL 34-3311  
 事務局／TEL 35-3477 FAX 32-7095  
 E-mail : sanjo-rc@cpost.plala.or.jp  
 https://www.sanjorotary.site

- 本日の出席会員数:56名中45名
- 先々週出席率:89.09%

【先週のメイクアップ】

[5.23] クラブリーダーシップ  
ラーニングセミナー (湯沢) へ

- ・ 小林吾郎さん、野水靖之さん、
- ・ 梨本次郎さん、明田川賢一さん、
- ・ 杉山幸英さん、落合孝夫さん、
- ・ 白鳥 賢さん

[5.27] 長岡東RCへ

- ・ 田久保良さん

[5.30] トリムの森草刈りへ

- ・ 明田川賢一さん、安達俊明さん、
- ・ 五十嵐博宣さん、石倉政雄さん、
- ・ 岩橋美穂さん、小越憲泰さん、
- ・ 落合孝夫さん、嘉瀬一洋さん、
- ・ 小出子恵出さん、小林卓哉さん、
- ・ 渋谷政道さん、杉山幸英さん、
- ・ 関川 博さん、高橋俊樹さん、
- ・ 滝沢 亮さん、中林順一さん、
- ・ 梨本次郎さん、西山徳芳さん、
- ・ 野水靖之さん、長谷川正実さん、
- ・ 早川滝徳さん、丸山鉄兵さん、
- ・ 丸山行彦さん、柳取崇之さん、
- ・ 渡辺良一さん

(25名+三条RAC会員3名)

[5.30] 富山年度 防滅災セミナー (長岡) へ

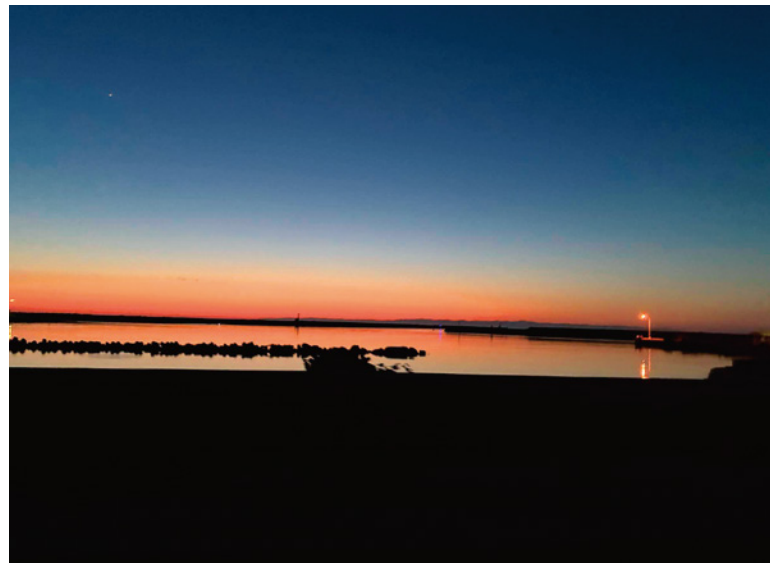
- ・ 松永隆夫さん

[5.30～31] 第29回RI日本青少年交換研究会  
福岡会議へ

- ・ 外山浩玲さん

よいことのために  
手を取りあおう

2025～2026年度国際ロータリー会長メッセージ



「寺泊港のサンセット」

## 模擬例会「会長エレクト挨拶」

小林吾郎 会長エレクト



皆様、こんにちは。いよいよ来月7月から、新しい年度が始まります。私たちが迎える2026-27年度は、三条RCにとって、創立70周年という記念すべき、極めて重要な1年となります。

三条RCは、新潟県内でも特に歴史と伝統を誇るクラブです。先日のCLLS(クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー)に参加した際、他クラブの会長エレクトの方々と接する中で、三条クラブの「価値」を改めて感じる出来事がありました。

一つは、燕RCの次年度会長と話していた時のことです。「燕クラブには、三条RCさんのような歴史も、そこからくる重みもありません。歴史や伝統は、作ろうと思って作れるものではない。それは何物にも代えがたい『価値』です。そのことを非常にうらやましく思う」と言われたのです。私たちが日々当たり前のように感じているこのクラブの空気感や品格は、実は外から見れば、うらやましいと思われるモノ、先人たちが70年かけて築き上げた「資産」なのだと再認識いたしました。

もう一つ。三条東RCの次年度会長が、CLLSのセッションの最後に「例会に作業着で参加しても良いクラブがあったら挙手してください」と発言しました。すると、会場の約8割の会長が手を挙げ

たのです。ここ三条RCの例会に作業着で出席する姿は考えられないことではないでしょうか。これはこの三条RCが70年間、お互いへの敬意を「装い」という形でも示し続けてきた証であり、「格式」そのものなのだと感じました。

こうした歴史と伝統あるクラブの会長を担うにあたり、先日、私はある先輩から言われた事があります。「三条RCの会長たるもの、しっかりと自分の考えを言葉にし、書き記した文書を堂々と読み上げるべきである。それが伝統あるクラブの会長の姿だ」という言葉です。私自身、これまでは自分の想いを直接、その場の言葉で伝えることこそが誠実さだと思っておりました。しかし、先輩の言葉を受け、「言葉を紙に記す」という行為は、クラブの歴史に対する責任だと感じました。そこで今回からしばらくの間は、この「熟考した文章を読み上げる」というスタイルで、私の想いを伝えていきたいと思えます。

来期はもうひとつ。年会費の値上げを避けて通れません。これから皆さんにアナウンスして、定款、細則に則って進めていきたいと思っています。

三条RCという伝統あるクラブの会長として、この歴史のバトンを次世代に繋ぐべく、一年間全力で取り組んでまいります。皆様の温かいご支援とご協力を、心よりお願い申し上げます。

## 幹事報告



### 野水靖之 幹事エレクト

◎2026年6月のロータリーレートは、1ドル159円です。

◎室賀ガバナー事務所より

「ガバナー月信 6月号発行のお知らせ」

◎地区事務所より

「2027-28年度 青少年交換プログラム募集要項 配布のお願い」

◎富山ガバナー事務所より

「クラブリーダーシップラーニングセミナーご出席の御礼」

◎十日町RCより

「創立70周年記念式典ご臨席の御礼」

◎三条ローターアクトクラブより

「6月第一例会のご案内」

日 時 6月4日(木) 19:30～

会 場 まちやま 2階・ひまわり(会議室)

卓 話 三条南RC 青少年奉仕委員長 藤田寛嗣 様

## ニコニコBOX

柳取崇之 会長

先週のトリムの森清掃活動ありがとうございました。

伊藤浩志さん

5月9日に母が享年94歳にて亡くなりました。葬儀に際しましては、皆様にお集まりいただきまして深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

小林吾郎さん

いよいよ始まります。1年間よろしく願います。

野水靖之さん

とても緊張しております。本日、よろしく願います。

松永隆夫さん

本日、模擬例会です。緊張しますが、よろしく願います。

早川滝徳さん

いよいよ今年度はあと一か月となりました。皆様、最後までよろしく願います。

本日模擬例会、次年度の皆さんよろしく願います。

渋谷政道さん

今週末6日(土)7日(日)は、三条凧(イカ)合戦です。新潟県指定無形民俗文化財となっている凧合戦、お時間ありましたら三条防災ステーション(ミズベリング三条)で開催していますのでご観覧ください。小林会長エレクト、クラブフォーラムありがとうございます。

明田川賢一さん

CLLSに参加してきました。楽しかったです。来年はより多くのメンバーで参加しましょう。

岩橋美穂さん

5月30日、トリムの森草刈りに参加させていただきました。来春の桜が今から楽しみです。

吉井直樹さん

いよいよ柳取年度ラストスパート、小林年度のウォーミングアップの月になりました。体に気を付け、6月を乗り越えましょう。本日のフォーラムよろしく願います。

菊池 渉さん

忙しくもないのに時間が取れなくて、ふり返ってみると、一歩も前に進んでいない毎日が…うれしくて、うれしくて。

渡辺良一さん

いよいよですね！模擬例会よろしく願います。

西山徳芳さん

越後丘陵公園の香のバラ展に行ってきました。美しく感動しました。

相場弘介さん

本日もよろしく願います。

津野勇司さん

5月20日に行われた新会員オリエンテーションの講師の方々、ありがとうございました。

嘉瀬一洋さん

小林次年度のスタートが楽しみです。

荻根澤隆雄さん

本日は模擬例会、楽しみにしております。頑張ってください。

落合孝夫さん

CLLS湯沢、参加して来ました。

松永一義さん

小林さん、これからご苦労様です。

中村和彦さん

都合により早退します。

船越良則さん、 山田富義さん、 小林卓哉さん、  
小越憲泰さん、 小出子恵出さん、 白倉徳幸さん、  
斎藤弘文さん、 安達俊明さん、 渡部 宏さん、  
中林順一さん、 高橋俊樹さん、 杉山幸英さん、  
野崎喜一郎さん、 五十嵐晋三さん、 石橋育於さん、  
五十嵐博宣さん、 丸山行彦さん、 飯塚一樹さん、  
外山浩玲さん

本日はCLLS報告・クラブフォーラムよろしくお願ひいたします。お話楽しみにしております。

6月3日分 ￥ 48,000  
今年度累計 ￥ 1,482,000

## 「CLLS(クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー)報告」



### 小林吾郎 会長エレクト

5月23日(土)越後湯沢NASPAニューオータニにおいて、クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーが開催されました。今年度からPETSがPELSに名称変更されたように、従来の地区研修・協議会がクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーとなりました。

当日はNASPAニューオータニという事で、400人を超える参加者を余裕で収容できる会場で全体会議が進められ、午後いくつかのセッションに分かれて会議が行われ、また改めて大会議場に集まってそれぞれのセッションでの学びを報告し、その後懇親会へ、という流れになりました。

### 1. 富山洋次年度ガバナーによる

#### 「国際協議会報告と新年度地区運営方針」

富山次年度ガバナーは、PELSと同じこととお話されました。しかし、今回のセミナーで次年度ガバナーが特に強い危機感を持って強調されていたのは、次の2点です。

- 分区の再編について:現在の分区体制では運営に支障が出ているケースがあり、再編は避けて通れない課題です。「自分たちには関係ない」ではなく、地区全体の持続可能性のために自分事として考えてほしいと強く促されました。
- ハラスメント防止の徹底:幸いにも本地区で大きな表面化したトラブルは起きていませんが、「非常に危うい事例、パワハラ、セクハラ」は散見されるとのことです。ロータリアンは地域で尊敬される「いい人」の集まりであるべきであり、その品格を損なうハラスメントは断固として防止しなければならないという強い決意が語られました。

### 2. 高橋秀樹パストガバナーによる「クラブの活性化について」

最初に推奨書籍のご案内がありました。クラブ活性化の参考として、高崎RC(146名)の田中久夫さん(1年間で50名の純増を達成した「お化けのような会長」)による著書『ロータリークラブに入ろう』や『そうだったのかロータリークラブ』が紹介され、一読が勧められました。

続いて、高橋パストガバナーより、データに基づいた現状分析とご自身の経験に裏打ちされた「退会防止」についての講話がありました。

その後、高橋さん個人の話として、何度も退会を考えたけれども、踏みとどまった理由が幾つかあった事。それは、入会后2年間、例会後に必ず一対一で飲み連れ出してくれた先輩の存在や、仕事以外の部分で「かっこいい」と思えるメンバーがいたこと、最後に多くの先輩経営者の中で、マナーや振る舞いにおいて恥をかくことで、自己研鑽の意識が芽生えたこと、そんな事を話されていました。

CLLSでの高橋さんの講演は、自身の「退会しなかった理由」という成功談が中心でした。しかしながら、会員減少が続く現状では、ロータリー愛の強い成功例を聞くだけでは退会防止の実効性は薄いと感じました。



●次年度、7月から よろしくお願ひします。  
(左から、松永SAA、明田川会長エレクト、野水幹事、小林会長)

## 「第1セッション報告」



### 野水靖之 会員

ご報告させていただきます。  
私は会長・幹事エレクトを対象とした第1セッションに参加しました。  
担当の講師は富山 洋ガバナーエレクトです。

下記4つのテーマに分けてお話ししました。

- 1.2026-2027年度RI会長オンラインカ・ハキーム・ババロラ氏のメッセージについて
- 2.クラブ活性化について
- 3.ハラスメントの防止について
- 4.分区再編検討について

この中で、特に富山ガバナーエレクトが強調し伝えて下さったことが「このババロラ会長のテーマである「持続可能なインパクト」について、皆さんなりに感じとったインパクトの意味を、是非とも各クラブに持ち帰ってお伝え頂きたい!」とのことでした。ですので私はそこをご報告させて頂こうと思います。

そもそも「インパクト」という言葉をAIで調べると、物理的な衝撃・強い印象、さらに近年では事業や投資が社会・環境にもたらす「変化・影響」を指す言葉。と表現されていました。

しかしながら、ババロラ会長の言葉や、今回のセッションでの富山ガバナーエレクトの説明から、私なりに解釈した「インパクトの意味」とは、「人の心を動かすこと」ではないのかなと受け止めました。

これまでロータリークラブが世界各地で活動してきたプロジェクトや奉仕活動は、その物事を実行することが目的ではなく、それをしたことにより、そこに関わった人達や恩恵を受けた人達が、今後はロータリーが関わらなくとも自立して持続的かつ永続的に活動を続けていけることが望ましく、それこそが間違いなく「人の心が動いた」証であり「インパクト」であるとババロラ会長は仰られているのだと感じました。

「何をどれだけやった結果どうだった」という数値考察だけではなく、「何をやったらどうなって、その結果人々にどんな感情が芽生え、どんな物語になったのか」という、ロータリアン一人一人が「ストーリーテラー」となって「インパクト(感動)」を生み出すこと。

そんなババロラ会長が思い描く持続可能なインパクトの意味をお伝えし、ご報告とさせていただきます。

## 「第2セッション報告」



### 梨本次郎 会員

来年度の会員増強委員長を仰せつかりました梨本次郎です。

本日は、先々週の土曜日に湯沢のNASPAニューオータニで開催されました「国際ロータリー第2560地区

2026-27年度 クラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナー (CLLS)」の第2セッションについてご報告いたします。

テーマは、「クラブ・リーダーシップ・プラン」と「広報・公共イメージ」でした。

冒頭では、会員が積極的に参加し、実りあるプロジェクトを実施できる活気あるクラブとなるために、Club Leadership Plan (クラブ・リーダーシップ・プラン)を活用してほしいとの説明がありました。このプランはRIと地区が共有しているものであり、その活用の第一歩として「MyRotary登録」の推進が呼びかけられました。

現在、第2560地区では登録率80%を目標としているそうです。まだ登録がお済みでない方は、メールアドレスがあれば簡単に登録できますので、ぜひご登録をお願いいたします。

例年、会員増強というと、現状分析を行い、年間の目標人数を設定して取り組むというイメージがありました。しかし来年度は、「数ではなく質を高めよう」という明確な方針が示されました。

クラブが元気で楽しくなければ、いくら会員を増やしても退会につながってしまいます。そのため、まずはクラブそのものの魅力を高めていこうという考え方です。私自身も大変共感しましたし、来年度の活動においても納得感を持って取り組める方針だと感じました。

また、組織的に公共イメージを向上させることで、「知っている」から「参加したい」へと意識を変えてもらう働きかけを行っていくとの説明もありました。SNSでの発信については共通のガイドラインが示され、例会や奉仕活動の投稿においては、共感を得られるよう「ストーリーテリング」を意識するよう指導がありました。また、ハッシュタグ「#rotarystory\_japan」を付けて発信するよう推奨されました。

第2セッションを受講して、RI・地区・クラブが同じ方向を向きながらガバナンスを図っているという印象を受けました。それは決して強い統制や締め付けではなく、それぞれのクラブをより良くしようという支援の姿勢であり、会員減少という共通の課題に対して、ともに知恵を出し合い、力を合わせて乗り越えていこうという「共闘」の精神を感じることができました。

以上、ご報告とさせていただきます。

## 「第3セッション報告」



### 落合孝夫 会員

ロータリーの5大奉仕の中の職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕のセッションでした。

3名の各委員長から報告がありました。

まず、ロータリーの目的は、よく知られておりますように、「意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むこと」とロータリー章典の事を説明され、その奉仕の実践として、5大奉仕がありますが、今日はその中でも、職業、社会、国際の各奉仕について説明いたします、と始まりました。

例年との違いは、来年度は、「職業奉仕」と「社会奉仕」を1つにして「奉仕プログラム委員会」を立ち上げるということです。しかし、職業奉仕委員会、社会奉仕委員会のそれぞれの委員長はいらっしゃって、統合された奉仕プログラム委員会が、合同で何かするのか、なぜ統合したのか、最後まで理解できない形で終わりました。

ちなみに次々年度は、元通り各委員会になるとか。

とにかく、9月に各委員会セミナーが開催されるので、詳細はそこで発表があるとの事でした。

社会奉仕委員会では、ガバナー月信に各クラブの地域での取組を紹介したいので、寄稿を募集しており、ひとまず7月号、8月号の担当クラブを決めたいので、と候補を募っていました。三条クラブにも声がかかるかもかもしれません。

国際奉仕は、わずかの説明で終わりました。

来年度の国際大会の企画募集を行うが、大会日程は、令和9年6月26日～30日。開催地は、ドバイからバルセロナに変わりました。

国際奉仕フォーラムは、9月6日(日)長岡グランドホテルで行います。と、この説明だけでした。

以上、第3セッションの報告でした。



## 「第5セッション報告」



### 明田川賢一 会員

#### <財団委員長より>

ロータリー財団は集められた補助金を使って、ロータリー会員が人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを使命としています。そのために寄付を集めることと、持続可能なインパクトをもたらす奉仕プロジェクトを探し支援することの2つが両輪となり、ミッションを支えています。

※補助金と活動について情報を伝え、会員が参加することで喜びを共有できることをアピールしよう。

※補助金と活動について情報を伝え、ロータリー財団への寄付に対するモチベーションを喚起しよう。

#### <寄付・資金・ポリオプラス委員>

ポリオプラスソサイエティーについては、毎年100米ドルをポリオプラス基金に寄付することを継続的に行うことを同意するロータリー会員の有志組織プログラムです。この取り組みに参加される方を募集しています。

毎年、継続的に寄付することを宣言することで登録証やピンバッジがもらえることに加え、メジャードナーなどの確認証の対象になります。さらに、ビルゲイツ財団より2倍の上乗せ寄付が得られ、より効果的にポリオ根絶に役立てられます。

#### <今回特徴的だったこと>

- 今までは地区協議会という名称がクラブ・リーダーシップ・ラーニングセミナーになり、参加者がディスカッションするような取り組みでした。6人づつくらいのグループに分かれ、それぞれに地区の財団委員が1人ずつ入り、その方を中心に意見や質問をする時間が設けられました。補助金の対象、ニーズを探すがなかなか難しいとの意見が多い印象でした。
- 財団副委員長がロータリー財団の活用法を発表する際に、財団委員長が過去に作成した活用法の報告文書をもとにAIでアニメを作り、報告をしていました。
- グローバル補助金を活用することで国を越えた広い範囲で補助活動ができることやより多額の規模の大きな奉仕活動ができるので積極的に活用してほしいとPRをしていました。

# トリムの森 草刈り

＜社会奉仕委員会より＞

去る5月30日(土)午前7時半からトリムの森に於いて草刈り活動を行いました。早朝からの開催にもかかわらず、25名の会員と3名の三条RAC会員よりご参加いただき、無事に終わることができました。皆様のご協力に心より感謝申し上げます。  
(出席者は週報メイクアップの欄に掲載しております。)



40周年記念植樹石碑周りも綺麗にしました!

次週例会 6月17日 夜例会「会長幹事慰労会」  
18:30～ 於 二洲楼

次々週例会 6月24日 **クラブ休会**



**皆様の写真で  
本週報の表紙を  
飾って  
みませんか?**

今期の三条ロータリークラブ週報では、皆様より表紙の写真を募集いたします。日常の風景から旅先のスナップ・渾身のワンカットなど、会員様の素敵な写真をご提供ください。  
**画像タイトル(キャプション)を入れてメールでお送りください。**  
**宛先は渋谷会員宛「m-shibuya@san-in.biz」までお願いいたします。**  
※投稿者名を非掲載希望の方は、メール送信時にその旨ご記載ください。  
※応募者多数の場合は掲載されない場合もございます。ご容赦願います。